

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

No.	55	1	事務事業名	スクールカウンセラー・教育相談事業	細事務事業名	スクールカウンセラー・教育相談事業	公的関与	4	シート作成日	平成31年6月25日							
課名	学校教育		グループ	学校教育	担当課長名	渡邊一弘	シート作成者名	岩田繁樹									
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等							
総合計画	政策目標	4 人が輝き文化が薫るやとみ			実施計画	事業の開始・終了											
	施策項目	学校教育の充実			<input type="radio"/> 1 該当	年度 ~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
	主要施策	生きる力の育成を重視した教育活動の推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等											
個別計画																	
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)												
	児童・生徒、保護者、教員				カウンセリングを行い、相談者が円滑な学校生活を送る手助けをします。												
事業の内容	スクールカウンセラーによる教育相談(小中学校に月1回程、市予算で対応)																
成果指標	①	指標名	学校教育の充実に関する市民の満足度						②	指標名							
		指標設定の考え方	平成24年度(23.2%)の30%増を目指す。				単位	%		指標設定の考え方							
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度		目標平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度			
		実績	31.4	実績	—	目標	※	目標		30	実績		実績		目標	※	目標
		目標	28	目標		目標		目標			目標		目標		目標		
予算費目	会計	一般会計			款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費				
直接事業費			平成 29 年度決算額			平成 30 年度決算額			平成 ※ 年度予算額								
	国・県支出金		千円		千円		千円		千円								
	地方債		千円		千円		千円		千円								
	その他特定財源		千円		千円		千円		千円								
	一般財源		1,619 千円		1,669 千円		1,669 千円		0 千円								
	計(A)		1,619 千円		1,669 千円		1,669 千円		0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.146 人		0.146 人		0 千円		0 千円							
	臨時職員工数・経費		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円								
全体事業費(A+B)			2,626 千円		2,676 千円		2,676 千円		0 千円								

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	いじめ、不登校などの対策として学校での児童生徒、保護者へのカウンセリングなどを行う事業です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	いじめ、不登校などの情報収集が図られます。初期の段階で把握ができます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		各小学校に一定時間のカウンセラーが配置されています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	小中学校との連携、情報共有を行うことが有効な対策となります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
		3	4	3	3	A	3	4	3	3	A				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等					
	当面の課題	社会環境が複雑化する中、児童生徒の相談時間、日数が限られるので効果的な方法を模索していくことが重要です。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
課題解決のための改善計画	学校現場で得られた情報を、適切にカウンセラーに情報提供することで、より効果的な連携を進めます。					児童生徒の相談時間、日数が限られるので効果的な方法をさらに検討していくことが課題です。 場合により、学校では相談しづらいこともあり得るので、ほかの相談機関の情報も周知を図っていく必要があります。 今後とも、教育相談活動を充実させ、いじめ・不登校の未然防止に努めていく必要があります。									
備考															